



彼を深く崇敬します。

なぜなら神様は彼から視覚を奪いましたが
ピアノで偉業をなすべく心と体を付与したのです。

ショパンの協奏曲をあれほど甘美で優しく
心搖さぶる誠実さで弾ける！

私は涙をこらえきれずにホールの外に出ました。

—— メナヘム・プレスラー

(辻井伸行が日本人初優勝を飾った「ヴァン・クライバーン
国際ピアノ・コンクール」で審査員を務めた名ピアニスト)

©Yuji Hori

《辻井伸行 ショパン・スペシャル》

NOBUYUKI TSUJII 協奏曲連続演奏 CHOPIN:SPECIAL

辻井伸行(ピアノ) 現田茂夫 指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団

ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 Op.11

ピアノ協奏曲第2番 ヘ短調 Op.21

※演奏順はコンサート前半に第2番、休憩をはさんで後半に第1番となります



©飯島隆

世界が驚嘆！ 辻井伸行ならではの甘美で、優しく、
心を揺さぶるショパンの名曲に感動する特別なコンサート！

—————<xxx> 長野県松本文化会館開館30周年記念 <xxx>—————

2022年 **5月20日(金)** 開演19:00
(開場18:00)
キッセイ文化ホール(長野県松本文化会館)

チケット
発売日

2022年 **4月17日(日)10:00~**

プレイガイド

テレビ信州チケットセンター(<https://e-shinshu.jp/>)

①チケットはWeb販売のみとさせていただきます。

*販売サイトが新システムに移行しましたので、事前に会員登録をお願い致します。

[料 金(全席指定・税込)] S席10,000円 A席9,000円

※チケットは1回のお申込みにつき4枚までとなります。※未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケット
センターは
こちら



お問合せ

テレビ信州チケットセンター
TEL.026-225-0055

(平日10:00~18:00)



ショパンのピアノ協奏曲第1番は、2009年「ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール」本選において美しい感動的な演奏を披露し、聴衆はもちろん審査員たちをも感動させ、見事日本人初優勝を勝ち取った記念すべき作品。また第2番は、20世紀を代表する名ピアニストであり偉大な指揮者でもあるウラディーミル・アシュケナージの指揮のもと、数多くの共演とドイツでのレコーディングを行い、世界中で高い評価と人気を集めています。十八番ともいえるショパンの2曲の協奏曲を辻井伸行が連続で披露する超豪華なコンサート！一期一会の貴重な機会にぜひ足をお運びください。

©Yuji Hori

巨匠アシュケナージも賛辞を惜しまない辻井伸行の感動的なショパン！
名作協奏曲を一度に披露する豪華なコンサートの開催が決定！

《辻井伸行 ショパン・スペシャル》

NOBUYUKI TSUJII 協奏曲連続演奏 CHOPIN:SPECIAL



©Yuji Hori

辻井伸行(ピアノ)
Nobuyuki Tsujii, piano

2009年6月「第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール」において日本人として初優勝を飾る。以来、世界的なピアニストのひとりとして活躍し、ニューヨークのカーネギーホールの主催公演やイギリス最大の音楽祭「プロムス」などに出演し大成功を収めたほか、ウィーン楽友協会やベルリン・フィルハーモニー、パリのシャンゼリゼ劇場などの世界の著名なホールで例年コンサートを開催し、高い評価と多くの聴衆の支持を得ている。また、欧米の一流オーケストラからのソリストとしての出演希望も数多く寄せられ、ゲルギエフやアシュケナージなどの世界的指揮者からも高い評価を受けており、これまでに数多くの共演を行っている。



©K.Miura

現田茂夫(指揮)
Shigeo Genda, conductor

東京音楽大学作曲指揮専攻で汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後東京藝術大学で佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。1985年安宅賞受賞。神奈川フィルハーモニー管弦楽団名誉指揮者。他、国内外の主要オーケストラも指揮し好評を得ている。世界的な指揮者としても経験豊かで、東京二期会、関西二期会、錦織健プロデュースオペラほか、海外の劇場での指揮も行っている。また、ペドロッティ国際指揮者コンクール(イタリア)の審査員やNHK-FMラジオのパーソナリティを3年間務めるなどバラエティに富んだ活動を行っている。



©阪島隆

大阪フィルハーモニー交響楽団
Osaka Philharmonic Orchestra

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立、1960年改称。創立から2001年までの55年に亘り朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務めた。大植英次音楽監督時代には「星空コンサート」「大阪クラシック」といった大型プロジェクトで注目を集め、2014~2016シーズンは井上道義を首席指揮者に迎え、「ショスタコーヴィチ/交響曲第4番」「交響曲第7番」「交響曲第11番」の録音で高い評価を得た。2018年4月、尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール(大阪・中之島)を中心に全国各地で演奏活動を展開している。2017年度文化庁芸術祭・優秀賞受賞。2017・2018年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞を二年連続で受賞。2022年、創立75周年を迎える。